

令和元年度東部地区進路指導・キャリア教育研究協議会

1 目的

望ましい進路指導・キャリア教育の充実を図るため、埼玉県進路指導改善検討委員会の報告書を踏まえ、中学校等と高等学校との連携を密にし、円滑な接続を目指すとともに進路指導・キャリア教育上の諸課題の解決に資する。

2 期日・会場 令和元年10月11日（金） 県立杉戸農業高等学校

3 参加対象校

- ・東部教育事務所管内公立中学校、義務教育学校（後期課程） 93校
- ・管内市町に所在する県公立高等学校 39校

4 主な内容

(1) 授業参観・施設見学

(2) 全体会

- ・ 情報提供1 県立学校部高校教育指導課から
「第29回埼玉県産業教育フェア等について」
- ・ 情報提供2 総務部学事課から
「私立高等学校等における学費軽減の補助等について」
- ・ 情報提供3 市町村支援部義務教育指導課から
「中学校等から高等学校への円滑な接続を目指す進路指導の現状と課題等について」

(3) 分科会（グループ協議）

「中学校等から高等学校への円滑な接続を目指す進路指導・キャリア教育の現状と課題等について」

5 参加者の感想から

(1) 授業参観・施設見学について

【成果】高等学校

- はじめて農業高校を見学した。施設が広く、ゆったりとした環境の中で、生徒たちはとても熱心に授業に取り組んでいた。
- 他の高校の校内を見学できる機会はあまりないので、本日は実習の様子や施設等を実際に見ることができてよかった。
- 中学校の先生にとって、専門学科に対する理解を深めることは、キャリア教育という視点でも、とても意味があることだと思う。
- 様々な実習があり、とても興味深く見学させていただいた。専門学科ということもあり、生徒たちはとても生き生きと活動していた。

【成果】中学校等

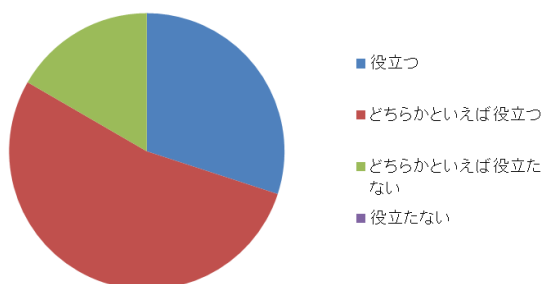
- とても参考になった。会場として学校を公開することは大変だと思うが、来年度も同じように、専門学科を有する高等学校での開催をお願いしたい。
- 普段、生徒や保護者には高校説明会等に行くように指導しているが、教員が高校に足を運ぶ機会はあまりない。教員も高校を実際に見ることが大事だと感じた。
- 専門学科の授業において、生徒たちは将来の夢に向かって、生き生きと学んでいた。中学校での進路指導・キャリア教育に役立てたい。
- 本校では、中学校区の夏の研修会で、キャリア・パスポートを作成することになった。どのような内容のものにするか考えていたところなので、とても参考になった。
- 授業や施設、生徒たちの様子を実際に見学し、専門学科のある高校について理解を深めることができた。自校の生徒にも伝えたい。

【課題】

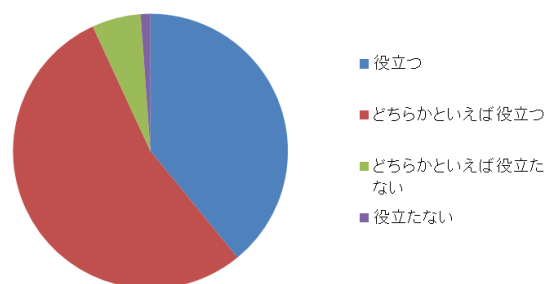
- たくさんの授業を公開していただいたが、授業参観・施設見学の時間が短く、じっくりと見るができなかった。
- 専門学科の授業について、もっと詳しく知りたいと思った。可能であれば、参会者が体験できる場面があると、自校で生徒に伝えやすいと感じた。
- 校内が広く、多くの授業を公開していただいたので、例えばガイドや説明等があると、さらに効率よく、効果的に見学ができると感じた。

(2) 全体会（情報提供）について

【高等学校】全体会の情報提供



【中学校等】全体会の情報提供



【成果】高等学校

- キャリア・パスポートについて、これから準備を進めようと考えていたので、情報提供として目的や活用方法等の説明していただき、参考になった。
- どの説明も丁寧で分かりやすかった。学費軽減の補助等について、さらに詳しく知りたいと感じた。
- 来年度から始まるキャリア・パスポート活用に関する情報は、所属校に戻ってしっかり伝えたい。



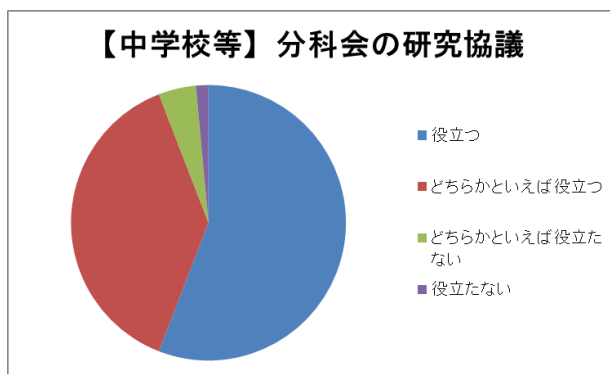
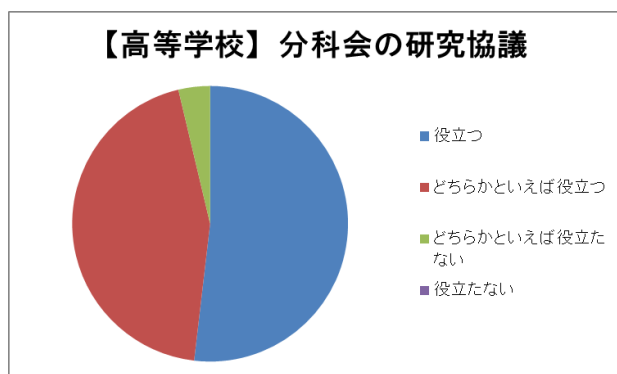
【成果】中学校等

- キャリア・パスポートや、学費軽減の補助等、再確認する機会がもててよかった。
- キャリア・パスポートに関する説明が聞けてよかった。改めて小・中・高が連携してキャリア教育を進めていくことの大切さを実感した。
- 今後の進路指導・キャリア教育に役立つ、重要な内容を説明していただいた。
- キャリア教育に関する情報提供をいただき、進路担当はもちろん、担任がより深く理解し、進めていくことが大切だと感じた。
- 公的テストの扱いについて、三者面談で指導するにあたり、自校で再度、情報を共有したい。

【課題】

- 情報提供の内容は、中学校向けの内容が多く、高校向けの内容が少なかった。
- キャリア・パスポートの説明はとても参考になったが、もっと深く、具体例なども示しながら説明していただけるとよかった。
- 情報提供では、専門学科のある高校についての説明を中学校の先生方に聞いていただくことも必要ではないかと感じた。

(3) 分科会（グループ協議）について



【成果】高等学校

- 中学校の先生方が、調査書の書き方に強い関心を持っていたことに驚いた。中学校・高等学校間のよい情報提供の機会になった。
- 普段、交流のない中学校の教員と交流することができ、非常に有意義な時間となった。協議の内容は、今後の募集活動の参考にもなる。
- 進路指導に関する中学校の悩みや苦労を伺い、高校側として協力をしていきたいと感じた。

- 中学校の進路行事の豊富さに驚いた。高校でも受け入れのための様々な行事を行っている。高校の情報を積極的に発信し中学校に伝える工夫を重ねようと思った。

【成果】中学校等

- 協議内容が具体的であり、切実感のある内容だったので、実のある研究協議会になった。中・高の連携の重要性を再認識できた。
- 分科会では、各学校の効果的な取組等を聞くことができた。本校でも実践したいと思うものもあり、充実した時間となった。
- 分科会では具体的な話が聞けたので、とても参考になった。今後も、このような取組の機会を増やしてほしい。
- 他の学校との情報交換が有意義だった。本格的な進路決定の時期を迎えるが、生徒が主体的に進路を選択できるよう、支援していきたい。
- 分科会の中で、中学1年からのキャリア教育が大切であるという話があった。自校でも、1年生からのキャリア教育をさらに充実させたい。
- 各学校でのキャリア・パスポートの活用方法や実践について、さらに協議を重ねたいと思った。
- 他校の実践を聞き、3年間を見通した計画的なキャリア教育の重要性を改めて実感することができた。
- 分科会では、他の中学校や高校の話聞くことができ、とてもよい機会になった。高校と中学校の考え方の違い等にも気付くことができた。



【課題】

- 分科会では高等学校の先生の貴重な話を聞くことができ、設定された時間では短く残念だった。選抜方法等について、もう少し話が聞きたかった。
- キャリア・パスポートについて、中学校での事務仕事が増えるのではと心配した。あまり負担のかからない形での実施を進めてほしい。
- 自分のグループは高校1校と中学校3校だった。グループの人数が少ないと話題が限定的になることも考えられるので、1グループの人数を7～8人程度にしてもよいのではないかと。

(4) その他

- 専門学科のある高校における求人や就職先等の情報、高校ではどのような進路指導等を行っているかということについて、もっと知りたいと思った。
- 農業高校では販売会等があると聞いている。実際に収穫したものや作ったもの、作品等の一部がどこかに紹介されていたら、見せていただきたかった。
- 専門学科のある他の高校にも行ってみたいと感じた。
- 実際に杉戸農業高校で学んでいる生徒の声も聞きたいと思った。
- 専門学科を有する高校を会場にしているので、専門学科の特性等について、資料等を使って説明していただくような時間があってもよいのではないかと。